

浄化槽の設置状況等について（平成 27 年度）



環境省は、平成 27 年度における浄化槽の設置状況、法定検査受検状況等について調査を行い、その結果を取りまとめました。

平成 27 年度における、浄化槽法第 7 条に基づく浄化槽の設置後等の水質検査（通称 7 条検査）の受検率は 92.5% であり、昨年比で 1.3 ポイント減少しましたが、ここ最近では 90% 程度でほぼ横ばいに推移しています。

また、浄化槽法第 11 条に基づく定期検査（通称 11 条検査）の受検率は 39.4%（合併処理浄化槽のみでは 58.3%）と昨年比 1.5 ポイント増加（合併処理浄化槽のみでは 1.2 ポイント増加）と増加していますが、依然低い水準にあるため、浄化槽の維持管理については、引き続き受検率向上に向けた取り組みが必要であるとしています。

なお、浄化槽の設置基数は、平成 27 年度末時点で、全設置基数が 7,623,915 基（-27,508）、内訳としては合併処理浄化槽が 3,499,462 基（+81,161）、単独処理浄化槽が 4,124,453 基（-108,669）となっており、未だに単独処理浄化槽が多い状況にあります。また、特に閉鎖性水域における富栄養化を防ぐため、窒素や磷等を除去する高度処理型浄化槽（窒素又は磷除去型、窒素及び磷除去型、BOD 除去型）の設置基数は 758,041 基であり、合併処理浄化槽の総数の 21.7% を占めています。

平成 27 年度に新たに設置された合併処理浄化槽の設置基数は 119,526 基。高度処理型浄化槽の新規設置基数は 92,462 基で、合併処理浄化槽の新規設置基数の 77.4% を占めています。

当社では、浄化槽排水を含む多くの排水分析について長年の実績がございます。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料 平成 28 年 12 月 27 日付 環境省報道発表資料

環境検査箇所 清水圭介

The Knights of Environmental Science **製品/材料中の金属などの分析において ISO/IEC17025 の試験所認定を追加取得！**
内藤環境管理株式会社 この度、当社での製品/材料中のアンチモン、リン、ベリリウム等の分析に対して、試験所の国際規格 (ISO/IEC17025) の認定範囲への追加が承認されました。これにより、RoHS 6 物質に加え、グリーン調達基準の管理物質でもある 3 物質のデータが国際的にも通用することになりました。

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

お問い合わせはこちら

